

豊岡市連結バランスシート

豊岡市には、どのような財産がいくらあるのか。また、豊岡市の債務はいくらあるのか。これらを明らかにするため、今までは、普通会計でバランスシートを作成してきました。

しかし、地方公共団体は、普通会計以外に水道事業、下水道事業、国民健康保険事業などの特別会計で様々な事業を行っています。さらに、地方公共団体が直接行う事業とは別に、一部事務組合や市が出資などを行っている第三セクター等においても地方公共団体と連携協力して行政サービスを実施しています。

こうしたことから、市全体の資産及び負債の状況等を総合的に把握するため、今回はじめて、普通会計とこれ以外の会計、さらに一部事務組合や市と連携協力して行政サービスを実施している第三セクター等までを含めた連結バランスシートを作成しました。

1 作成基準

連結バランスシートは、「地方公共団体の総合的な財政分析に関する調査研究会報告書」〔平成13年3月総務省〕及び「地方公共団体の連結バランスシート（試案）について」〔平成17年9月総務省〕に基づき、以下の基準により作成しました。

(1) 基礎となるデータ

基礎数値として、昭和44年度から平成17年度までの「地方財政状況調査表（決算統計）」及び平成17年度の各会計・関係団体の決算書を使用しています。

(2) 対象とする範囲

普通会計

一般会計、診療所事業、墓地公園事業

特別会計（地方公営企業。企業会計方式を採用）

水道事業、下水道事業（公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水施設、漁業集落排水施設、小規模集合排水処理施設、コミュニティ・プラント、個別排水処理施設）、農業共済事業

特別会計（地方公営企業。企業会計方式を採用していない）

簡易水道事業、駐車場事業、宅地事業、介護サービス事業

上記、以外の特別会計

国民健康保険事業（事業勘定、直診勘定）、老人保健医療事業、介護保険事業

一部事務組合

一部事務組合とは、地方公共団体の行う特定の事務事業を他の地方公共団体と共同して処理するために設立された特別地方公共団体です。本市が構成団体として加入している団体を連結対象とし、本市の経費負担割合に応じて連結しました。

・本市が加入している一部事務組合

団体名	業務内容	経費負担割合
但馬広域行政事務組合	但馬3市2町を構成団体とする魅力ある地域づくり、広域的課題への対応	41.59%
北但行政事務組合	広域ごみ・汚泥処理施設の設置及び維持管理並びに広域ごみ・汚泥の処理に関する事務を共同処理	64.19%
公立豊岡病院組合	豊岡病院、日高病院、出石病院、和田山病院、梁瀬病院の経営	74.41%

*経費負担割合は、年度により変わる団体があります。今回の連結は、平成17年度の負担金の実績割合により連結しました。

地方三公社

団体名	業務内容	出資割合
豊岡市土地開発公社	公共用地の先行取得・管理	100%

第三セクター

本市と連携協力して行政サービスを実施している団体で、本市からの出資比率が25%以上の第三セクターを連結対象としました。

・出資比率25%以上の団体

団体名	業務内容	出資割合
(財)但馬地域地場産業振興センター	地場製品の展示販売、宣伝普及、需要開拓など	42.5%
アイティ豊岡都市開発(株)	駐車場、ホールの運営管理	44.2%
豊岡まちづくり(株)	商店街活性化事業	48.9%
(株)北前館	北前船歴史資料展示、温泉施設、レストラン	51.0%
(株)日高振興公社	レストラン、売店等の経営管理、温泉入浴施設の管理運営、特産品の加工	55.6%
(株)但東クリーンセンター	一般廃棄物の収集運搬業務及びその他付帯業務	33.3%
(有)あした	農業生産活動及び農地保全	49.5%
(株)シルク温泉やまびこ	宿泊施設及び温泉入浴施設の管理運営	51.0%

(3) 作成方法

今までバランスシートを作成していない会計及び一部事務組合については、普通会計と同様の基準により作成しました。

企業会計方式を採用している特別会計及び第三セクター等については、それぞれ固

有の会計基準が定められているため、連結に際しては会計基準の統一は行わず、既存のバランスシートの金額を基礎として連結しました。ただし、資産・負債等の項目については、普通会計のバランスシートの項目に合わせる調整を行ったため、各会計及び団体が固有に作成しているバランスシートとは違いが生じています。

*例 「無形固定資産」 「2.投資等」の「(5)その他」で計上
「未払金」 「2.流動負債」の「(3)その他」で計上

地方公共団体内部の単なる資金の移動にすぎない特別会計及び関係団体間相互の貸付金、借入金、投資及び出資金などは双方の数値を消去しています。

・主なもの (単位：千円)

団 体 (会 計) 名	調整項目	金額
漁業集落排水施設	農業集落排水施設事業からの短期借入金	16,909
小規模集合排水処理施設	農業集落排水施設事業からの短期借入金	6,493
コミュニティ・プラント	農業集落排水施設事業からの短期借入金	62,055
豊岡市土地開発公社	普通会計からの出資金	12,500
(財)但馬地域地場産業振興センター	普通会計からの出資金	13,000
アイティ豊岡都市開発(株)	普通会計からの出資金	80,000
豊岡まちづくり(株)	普通会計からの出資金	40,000
(株)北前館	普通会計からの出資金	12,750
(株)日高振興公社	普通会計からの出資金	20,000
(株)但東クリーンセンター	普通会計からの出資金	1,000
(有)あした	普通会計からの出資金	4,950
(株)シルク温泉やまびこ	普通会計からの出資金	25,500

企業会計の「借入資本金」である企業債は、資本金ではなく負債として計上しています。

資産は、普通会計と同様に取得原価主義(取得した実際の支出額)で評価しました。

(4) 留意事項

連結バランスシートは、本市と連携協力して行政サービスを実施している関係団体を連結して、一つの行政であるとみなして作成したものであり、関係団体の資産及び負債等は本市に帰属するものではありません。

2 連結バランスシート

上記の基準で作成した連結バランスシートは、別表 - 1 及び別表 - 2 のとおりです。

別表 - 1 ...連結バランスシート本表

別表 2 ...地方公共団体(普通会計、特別会計)、一部事務組合、地方三公社、第三セクターごとのバランスシート

3 連結バランスシートからわかること

バランスシートを、普通会計と市の全会計及び連結（第三セクター等を含めた場合）の3つの場合で比較しました。

（単位：億円）

項目	普通会計 (A)	市の全会計 (B)	連結 (C)	連単倍率	
				(C/A)	(C/B)
資産合計	1,810	3,474.7	3,839.3	2.12	1.10
(有形固定資産)(ア)	1,640.9	3,245.4	3,485.5	2.12	1.07
負債合計(イ)	748.8	1,640.1	1,732.5	2.31	1.06
資産・負債差額合計	1,061.2	1,834.5	2,106.8	1.99	1.15
後世代による社会資本の負担率(イ/ア)	45.6%	50.5%	49.7%	-	-

- ・市の全会計（B）とは、普通会計（A）に公営企業会計及びその他の特別会計を含めたものです。
- ・連結（C）とは、市の全会計（B）に一部事務組合及び第三セクター等を含めたものです。
- ・連単倍率とは、連結決算（C）の値が、普通会計（A）及び市の全会計（B）の何倍になっているかを表すものです。

このことから、次のようなことがわかります。

資産については、普通会計の1,810億円に対し、市の全会計が3,474億7千万円、連結が3,839億3千万円（グラフ-1）となっています。そのうち、有形固定資産については、普通会計の1,640億9千万円に対し、市の全会計が3,245億4千万円、連結が3,485億5千万円（グラフ-2）となっています。

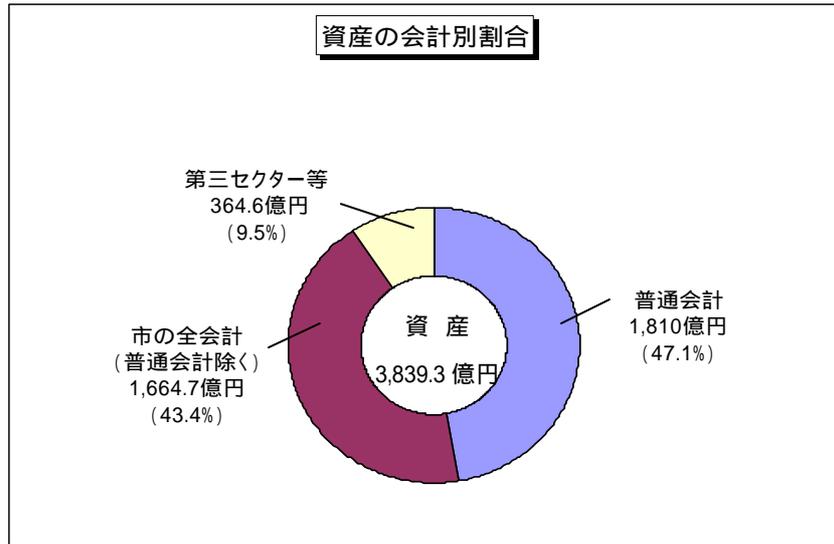
また、負債については、普通会計の748億8千万円に対し、それぞれ1,640億1千万円、1,732億5千万円（グラフ-3）となっています。

主な特徴としては、特に、普通会計と連結を比較した場合、資産が2.1倍となったのに対して、負債が2.3倍となるなど、資産に比べて負債の増加割合が大きくなっています。

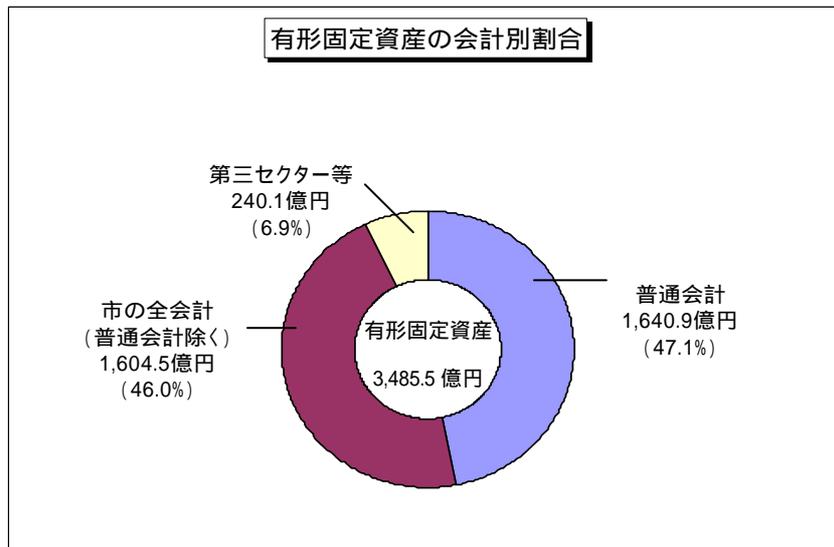
上記の結果、普通会計と比較して、後世代による社会資本の負担率が増加しており、将来の世代負担が大きいことがわかります。（グラフ-4）

これは、水道事業や下水道事業が将来の使用料収入で資金回収することを前提として借入金（市債）を活用する仕組みとなっていることに加えて、借入金（市債）の償還年限が普通会計より長いことが主な要因です。

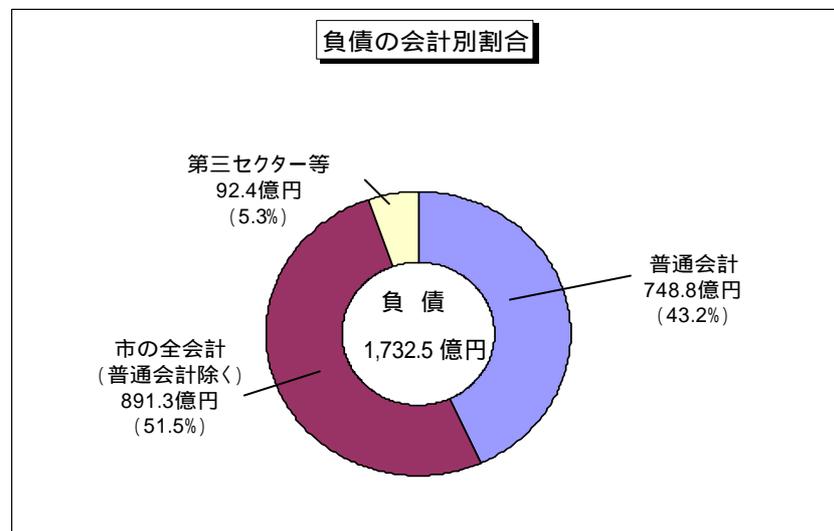
(グラフー 1)



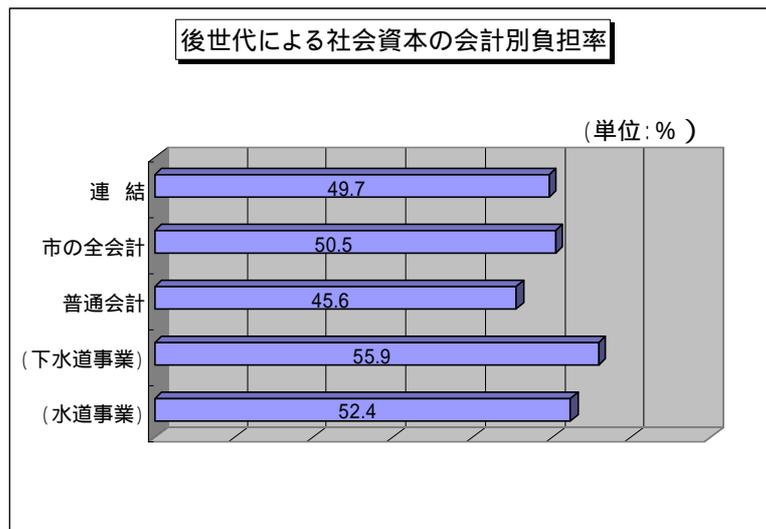
(グラフー 2)



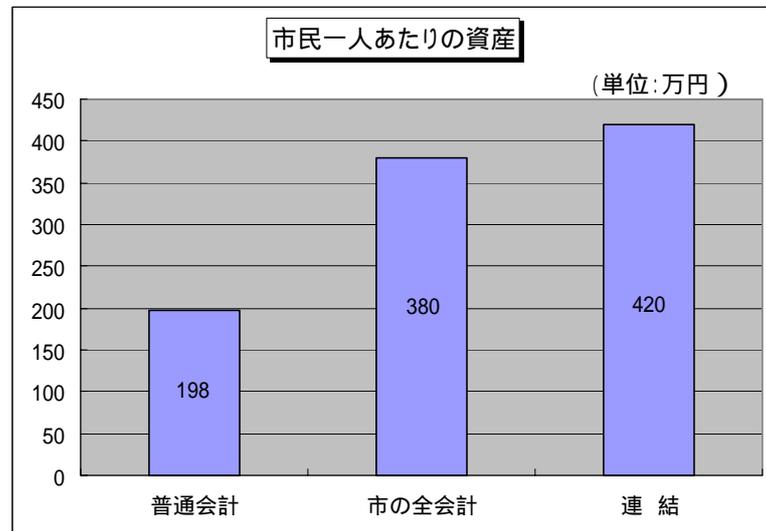
(グラフー 3)



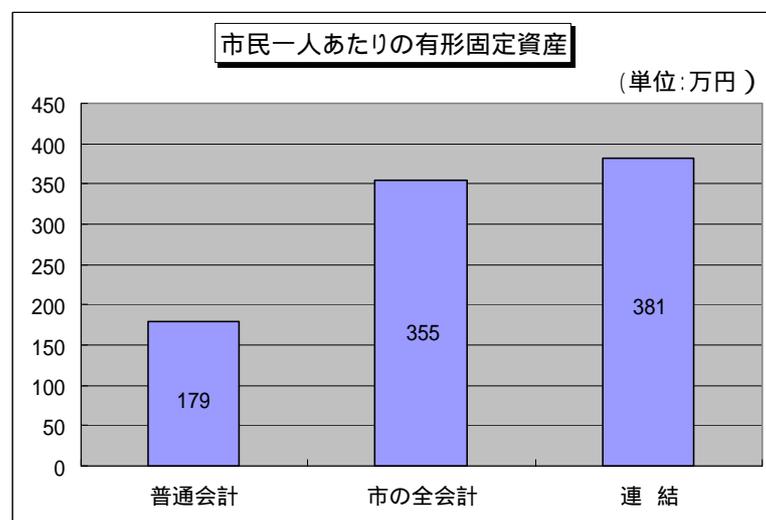
(グラフー 4)



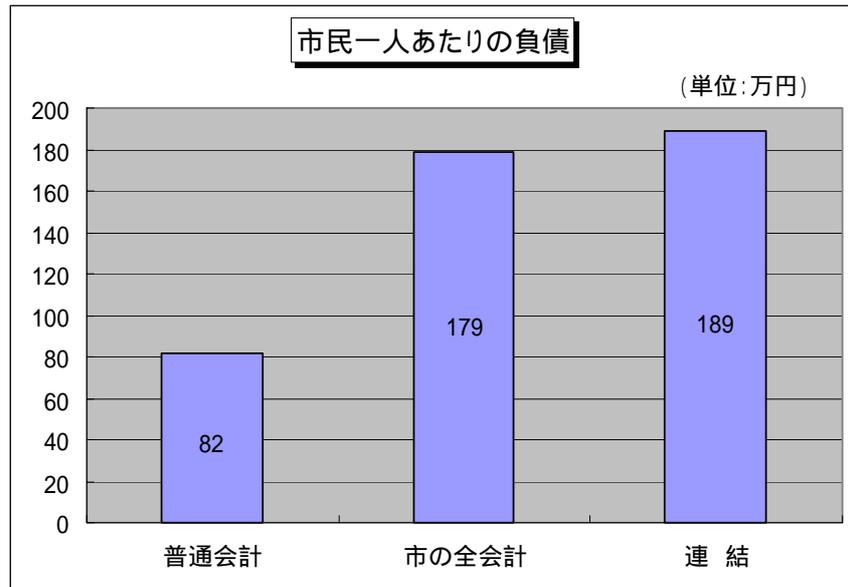
(グラフー 5)



(グラフー 6)



(グラフー7)



3 おわりに

今回は、総務省から示された試行モデルをもとに、本市と関係団体の財政状況を連結しました。この連結バランスシートを通して、本市全体の資産と負債の全体像が明らかになりました。

今後は、バランスシートが示す数値の詳細分析や類似団体との比較を通して、本市の特徴や課題整理などを行い、バランスシートとしての熟度を増していきます。

また、市民のみなさんにとって、わかりやすい情報の提供方法についても検討していきます。